

せいれいこうりんごだい しゅじつ とくてい
聖霊降臨後第 5 主日(特定 8)

とくとぅ
特祷

かみ てんちばんぶつ せつり
神よ、あなたは天地万物をみ摂理のうちに
おさ 治めておられます。どうか、わたしたちを害する
にく おこな せいれい のぞ にくろ したが
肉の行いを聖霊によって除き、み心に従って
よ おこな み むす
良い行いの実を結ぶことができるようにして
ください。主イエス・キリストによってお願い
いたします。 アーメン

《旧約聖書》

しよ
イザヤ書

第 2 章 10 節から 17 節

いわ あいだ はい ちり なか かくれよ
10 岩の間に入り、塵の中に隠れよ

しゅ おそ みかお いこう かがや
主の恐るべき御顔と、威光の輝きとを避けて。

ひ にんげん たか め ひ
11 その日には、人間の高ぶる目は低くされ

ごうまん もの いや
傲慢な者は卑しめられ

しゅ たか あ
主はただひとり、高く上げられる。

まんぐん しゅ ひ のぞ
12 万軍の主の日が臨む

ほこ もの へいごまん もの
すべて誇る者と傲慢な者に

たか もの かけ ひく
すべて高ぶる者に――彼らは低くされる――

たか た すぎ
13 高くそびえ立つレバノン杉のすべてに

かし き
バシヤンの櫟の木のすべてに

たか やま た みね
14 高い山、そびえ立つ峰のすべてに

たか どう けんご じょうへき
15 高い塔、堅固な城壁のすべてに

ふね うつく こぶね
16 タルシシユの船と美しい小舟のすべてに。

ひ ほこ もの いや
17 その日には、誇る者は卑しめられ

ごうまん もの ひく
傲慢な者は低くされ

しゅ たか あげ
主はただひとり、高く上げられる。

《使徒書》

ローマの信徒への手紙

第6章 3節から11節

3 それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたちが皆、またその死にあずかるために洗礼を受けたことを。4 わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。5 もし、わたしたちがキリストと一体になつてその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。6 わたしたちの古い自分がキリストと共に十字架につけられたのは、罪に支配された体が滅ぼされ、もはや罪の奴隷にならないためであると知っています。7 死んだ者は、罪から解放されています。8 わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることにもなると信じます。

9 そして、死者の中から復活させられたキリストはもはや死ぬことがない、と知っています。死は、もはやキリストを支配しません。10 キリストが死なれたのは、ただ一度罪に対して死なれたのであり、生きておられるのは、神に對して生きておられるのです。11 このように、あなたがたも自分は罪に對して死んでいるが、キリスト・イエスに結ばれて、神に對して生きているのだと考えなさい。

《福音書》

マタイによる福音書

第10章 34節から42節

34「わたしが来たのは地上に平和をもたらすためだ、^{おも}と思^{おも}ってはならない。平和でなく、剣^{つるぎ}をもたらすために来たのだ。35 わたしは敵対^{てきたい}させるために来たからである。

人^{ひと}をその父^{ちち}に、

娘^{むすめ}を母^{はは}に、

嫁^{よめ}をしゅうとめに。

36 こうして、自分の家族^{じぶん かぞく}の者^{もの}が敵^{てき}となる。

37 わたしよりも父^{ちち}や母^{はは}を愛^{あい}する者^{もの}は、わたし

にふさわしくない。わたしよりも息子^{むすこ}や娘^{むすめ}を

愛^{あい}する者^{もの}も、わたしにふさわしくない。38 また、

自分の十字架^{じぶん じゅうじか}を担^{にな}ってわたしに従^{したが}わない者^{もの}は、

わたしにふさわしくない。39 自分の命^{じぶん いのち}を

得^えようとする者^{もの}は、それを失^{うしな}い、わたしのため

に命^{いのち}を失^{うしな}う者^{もの}は、かえってそれを得^えるのである。

40 あなたがたを受け入^うれる人^{ひと}は、わたしを

受け入^うれ、わたしを受け入^うれる人^{ひと}は、わたしを遣^{つか}わされた方^{かた}を受け入^うれるのである。41 預言者^{よげんしゃ}を預言者^{よげんしゃ}として受け入^うれる人^{ひと}は、預言者^{よげんしゃ}と同じ報^{むく}いを受け、正しい者^{ただ もの}を正しい者^{ただ もの}として受け入^うれる人^{ひと}は、正しい者^{ただ もの}と同じ報^{むく}いを受ける。42 はっきり言^いっておく。わたしの弟子^{でし}だとい^う理由^{りゆう}で、この小^{ちい}さな者^{もの}の一人^{ひとり}に、冷^{つめ}たい水^{みず}一杯^{いっぱい}でも飲^のませてくれる人^{ひと}は、必^{かな}ずその報^{むく}いを受け^うける。」

「詩編」については週報をご覧ください。

2020年 6月28日

信徒作成

詩編 第 89 編 1 節 - 4 節、15 節 - 18 節

祈禱書 811 頁

皆様は太字の節を唱えてください。

Ⅱ の後の言葉は、一呼吸おいてからよみましょう。

1. 主よ、あなたの慈しみをとこしえに歌い Ⅱ わたしの口であなたのまことを世々に告げよう

2. その慈しみは変わることなく Ⅱ そのまことは天に堅く据えられた

3. あなたは仰せになった、「わたしの選んだ者と契約を結び Ⅱ 僕ダビデに誓って言った

4. 『とこしえにお前の子孫を堅く立てる Ⅱ お前の王座は揺るぎなく、世々に及ぶ』

15. あなたをたたえることを知る民は幸せ Ⅱ 主よ、彼らはみ顔の光に照らされてみ前を歩む

16. あなたの名をいつも喜び Ⅱ あなたの正義によって高く上げられる

17. あなたは彼らの力と栄光 Ⅱ その恵みでわたしたちの角は高く上げられる

18. わたしたちの盾は主のもの Ⅱ わたしたちの王は、イスラエルの聖なる方